

令和2年度第2回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和2年10月21日(水) 10:00~11:00	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員(副会長)、上川路委員、江口委員、碓山委員、石田委員、塩川委員、岩崎委員、金子委員(9名)		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長、総合企画課長、総務課長、経理課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	1 開会 2 交通局長の挨拶 3 議事 (1) 令和元年度鹿児島市交通事業特別会計決算 4 報告 (1) 令和2年3月以降の市電・市バス乗車実績 (2) 令和2年度の主なトピックス 5 その他 6 閉会		

会次第3-(1) 令和元年度鹿児島市交通事業特別会計決算

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	令和元年度の決算状況が示されたが、電車、バスそれぞれの経常収支は、昨年度と比較してどうか、また、どのように分析・評価しているか。
事務局	<p>平成30年度決算と令和元年度決算との比較について、軌道事業では、営業外収益の増加に伴い、黒字幅が増加した一方で、自動車運送事業では、営業収益の減少に伴い、赤字幅が増加している。両事業では、平成30年度の経常損失の額が、5億2,580万円であったため、令和元年度は、経常損失が若干増加している状況である。</p> <p>令和2年度からを計画期間とする鹿児島市交通事業経営計画において、令和元年度末での資金残を5億400万円と見込んでいたため、それを上回る資金残ではあるものの、計画における財政見通しでは、令和7年度までは赤字が続き、資金が減少すると見込んでいるため、今般の新型コロナウイルス感染症に伴う大幅な収入減の状況を考慮すると、非常に厳しい状況であると考えている。</p>
委員	鹿児島駅前停留場整備事業及びセンターポール照明LED化事業の今後のスケジュールを教えてほしい。
事務局	<p>鹿児島駅前停留場整備事業については、土台及び柱等は完成しており、屋根を設置しているところである。今後、仮設信号・仮設軌道等の撤去作業を行い、令和3年2月頃に整備が完了し、供用を開始する見通しである。</p> <p>センターポール照明LED化事業については、令和元年度に設計を行い、工事を令和2年度から令和6年度まで5年間かけて実施していく予定である。令和2年度は、桜島棧橋から高見馬場までを施工する予定である。</p>
委員	窓口キャッシュレスシステムを導入したとのことであるが、キャッシュレスで決済する割合は全体のどの程度か。
事務局	キャッシュレス決済の9割は定期乗車券の購入であり、次いで、積み増し等が多い。現金とキャッシュレスの決済手段の割合について、令和元年度は乗車券発売窓口における取り扱い金額の約2割がキャッシュレスによる支払いであり、令和2年度は、コロナ禍におけるキャッシュレス決済の推進により、支払いは約3割へと増加している。

会次第 4-(1) 令和2年3月以降の市電・市バス乗車実績

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	令和2年3月以降の新型コロナウイルス感染症の対策等で増加した費用について、また、現時点での資金状況について、可能な範囲でもう少し説明してほしい。
事務局	増加した費用について、9月補正の時点では、消毒液、マスク、運転席横の透明フィルム等の購入に約1,200万円を要している。
事務局	3密を避けるという観点から、コロナ禍においても、ダイヤ・便数を維持しており、人件費や燃料費は例年並みである。
事務局	現時点の資金の残額は算出できていないものの、8月末時点で、予算で見込んだ収益と比較して約5億700万円不足しているため、経営は非常に厳しい状況である。
委員	電車、バスの乗車実績をみれば、コロナの影響を大きく受けていると思われる。利用者が電車、バスに安心して乗車できるように、前回の会議でも感染対策に取り組んでいると聞いたが、その後新たに行った感染対策はあるか。
事務局	前回の経営審議会以降の主な取組としては、局の新型コロナウイルス感染症対策の取組をまとめた動画を制作し、市や局のホームページを介して公開しているほか、コロナ差別のポスター掲示、車内アナウンスによるマスク着用の呼びかけ、4か国語表記のマスク着用喚起ポスター掲示、定期観光バスの乗客の検温や代表者の連絡先提供のお願い等を行っている。
委員	3月に策定した「経営計画」の財政見通しに大きな乖離が生じる恐れがあるとのことで、計画の見直し時期も検討する必要があるとのことである。コロナの影響により、今後、乗客数が完全に回復することは難しいと思うので、やはり早期に増収対策や経費節減など計画の見直しを行うべきであると考えている。このことについては、どう考えているか。
事務局	<p>現時点で、今後収益がどの程度回復するのかを見通すことは難しく、今年度末までの状況を見極める必要があると考えており、その状況によっては、令和4年度に取り組むこととしていた経営計画の見直しを、前倒して取り組む必要もあると考えている。また、その際には、増収・節減対策についてもあわせて検討し、今後、この審議会においてご審議いただくことになると考えている。</p> <p>増収対策については、現状においても取り組んでいるところであり、新たに車体ラッピング可能な車両を設定し、広告媒体を増やしたり、医療関係の企業に広告掲出に関するダイレクトメールを送信したりしたほか、スマホ一日乗車券の発売開始等、できることから少しずつ増収に努めているところである。</p>
事務局	節減対策については、小さなことではあるが、消耗品の購入や時間外手当といった支出を極力抑えるよう局内に対して通知したところである。
委員	特別減収対策企業債の借入れについて、条件はあるか。
事務局	今年度創設されたものであり、年度末に資金不足が生じた場合に、その不足金額の範囲内で借入れを行うことができるものである。

会次第 4-(2) 令和2年度の主なトピックス

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	コロナ禍において外出を控えていたが、9月から唐湊停留場の幅が広がり、車イスでの利用が可能になったとのこと、大変嬉しく思う。市電の停留場の中で、まだ車イス利用ができないところはいくつあるか。また、今後、改修工事の予定はあるのか。

事務局	<p>市電の停留場は名称で言うと35停留場あるが、上りと下りで乗降場の仕様が異なり、乗降場の数で言うと77乗降場ある。このうち68乗降場は車イス対応が完了しており、9乗降場が未対応である。電停拡幅のためには、市道や県道の道路管理者と協議を行い、道路や歩道の位置をずらす、街路樹をなくすといった方策により電停の幅を確保する必要があるが、9乗降場の道路幅がもともと狭いこともあり、現時点で改修工事の予定はないが、引き続き、協議に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>交通局公式ツイッターを開設したとのことだが、現在のフォロワー数や情報発信の頻度について教えてほしい。</p>
事務局	<p>10月現在、1,000人を少し超える程度の方にフォローしていただいている。どれくらいのペースで発信するといったことは決めていないが、9月の大型台風接近の際に、運休・復旧等の情報を発信し、活用したところである。その他に、イベント等局の取り組みを随時発信している。</p>
委員	<p>せっかく開設したものなので、あまり更新されないといったことは避けてもらいたい。また、市内の方だけでなく、マニアの方や、県外の方への情報も発信して、ファンを増やす取り組みをしてもらいたい。</p>
委員	<p>バス経路検索データ整備事業で、標準的なバス情報フォーマットに準じた市営バス情報を作成して、グーグルなどへ情報提供したとのことだが、具体的に何ができるようになったのかももう少し説明してほしい。</p>
事務局	<p>グーグルマップを利用している方は多いが、これまでの経路検索では、例えばある経路を検索したときに、市電を利用した経路しか表示されず、残る経路は徒歩などによる経路が検索結果として表示されていたものが、今回の情報提供により、市バスを利用する経路も表示されるようになり、利用者の経路選択の幅が広がったほか、市バスの認知度を高められるようになった。</p>